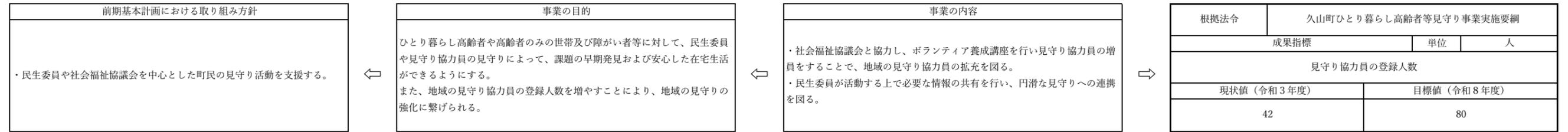


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野			地域経営			政策		人と人がつながり、町の可能性を広げる		施策		④地域福祉を支える人材の確保と体制の充実			
実施年度	令和	4	年度	予算科目	会計	款	項	目	継続	事業名	高齢者等見守り事業						担当課	福祉課		
	1	3	1	7	1	3	1	7									担当者	吉田 弘治		

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
Plan (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区ごとの見守りネットワーク会議で拳がった一人暮らし高齢者の情報を共有をする。 ・社協と協力し、ボランティア養成講座を開催し、見守り協力員の増員を図る。 ・民生委員会に参加し見守り活動に必要な情報の共有を図る。 			<ul style="list-style-type: none"> ・行政区ごとの見守りネットワーク会議で拳がった一人暮らし高齢者の情報を共有する。 ・社協と協力し、ボランティア養成講座を実施し、見守り協力員の増員を図る。（見守り協力員の減っている行政区へボランティア養成講座参加への積極的な声かけ） ・民生委員会に参加し見守り活動に必要な情報の共有を図る。 												
Do (実行)	見守り会議を2回に増やしたことで、多くの情報を共有することができ、必要な支援に繋げることが出来た。 見守り協力員が減少している猪野地区でボランティア養成講座を実施し、新たな見守り協力員の確保を行った。 民生委員が活動を行う上で必要な情報の共有を行い連携を図った。															
活動実績	ボランティア養成講座の開催回数			ボランティア養成講座の開催回数			ボランティア養成講座の開催回数			ボランティア養成講座の開催回数			ボランティア養成講座の開催回数			
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	回	1	1													
	ボランティア養成講座受講後、見守り協力員として登録した人数			ボランティア養成講座受講後、見守り協力員として登録した人数			ボランティア養成講座受講後、見守り協力員として登録した人数			ボランティア養成講座受講後、見守り協力員として登録した人数			ボランティア養成講座受講後、見守り協力員として登録した人数			
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	人	10	14													
成果指標	見守り協力員の登録人数			見守り協力員の登録人数			見守り協力員の登録人数			見守り協力員の登録人数			見守り協力員の登録人数			
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	人	80	55	人	80		人	80		人	80		人	80		
Check (評価)	B	見守り協力員の減少が見られていた猪野地区でボランティア養成講座を実施し見守り協力員の増員にて見守り強化に繋がられた。見守り会議を年2回実施することで情報共有の場が増え、民生委員への情報共有や見守り協力員のモチベーション維持に繋がられた。														
Action (改善)	地域での見守り活動は重要であり、その活動が継続していけるように、社会福祉協議会および民生委員会と連携し支援を行っていく必要がある。															
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算	
直接事業費（歳出）	215	(千円)	215	(千円)	214	(千円)		(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)
事業費財源	215		215		214		0		0		0		0		0	
特定	0		0		0											
地方債	0		0		0											
一般	215		215		214											
人件費	394.9		336.1		372.7		0		0		0		0		0	
人員数	0.050		0.050		0.050											
人件費単価	7.898		6.722		7.454		7.768		7.768		7.768		7.768		7.768	
事業費合計	610		551		587		0		0		0		0		0	
町民一人あたりの負担額	65.978	円	59.617	円	63.005	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円

令和4年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
地域経営1-4-126	高齢者等見守り事業

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価	評価者	吉田 弘治	5	大	←	小	1	↓	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か?											
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。										4	B
評価理由										3	
独居世帯の高齢者が増え、地域住民による見守りの目を増やし、早期に必要な支援につなげるとともに孤独死などのリスクを軽減することが必要と考える。										4	
										3	
2. 町が実施する必要があるか?											
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。										-	B
評価理由										4	
地域の実情に応じた各行政区ごとの見守りを行うことで情報の共有、が早期に図れ、包括支援センターや社会福祉協議会に繋げることが出来るので必要である。										3	
3. 実施内容は適切か?											
①有効性											
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。										4	B
評価理由										3	
見守り協力員や地域からあがった情報を、介護保険サービスや民生委員、巡回員への見守りなど必要な支援へ繋げることが出来る。										4	
②効率性											
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。										3	B
評価理由										4	
年2回の見守りネットワーク会議の実施により、行政区ごとの情報共有ができ、継続的な見守り活動へ繋がっている。また、民生委員や見守り協力員とのネットワークの構築が図られ、効率的な見守りに繋がっている。										3	
③公平性・透明性											
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。										5	B
評価理由										3	
見守りネットワーク会議の取り組みについて、社協ホームページにて周知している。また、ボランティア養成講座を開講するため、チラシなどにて周知を行っている。										3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

年2回の見守りネットワーク会議を各行政区で開催しており、一人暮らしや気になる世帯の情報共有を行っている。その情報をもとに包括支援センターでの見守りや介護保険サービスに繋げており、定期的な見守りが必要な方には老人世帯巡回員など必要な支援へ繋げることが出来た。また、民生委員や見守り協力員間で情報共有が図られ、ネットワークの構築も出来ている。行政区によって見守り協力員の減少があるためボランティア養成講座の定期的な開講が必要であると考える。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.2

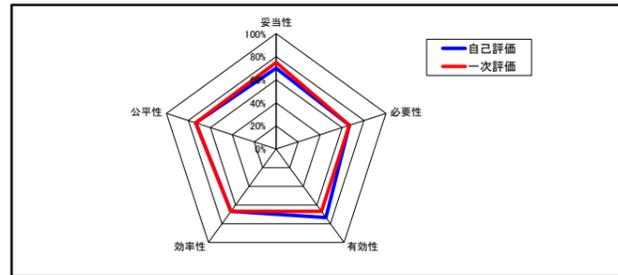
一次評価	評価者	今村 春美	5	大	←	小	1	↓	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か?											
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。緊急性が高く、即時に実施しなければならない。実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。										4	B
評価理由										3	
自己評価のとおりと考える。										4	
										3	
2. 町が実施する必要があるか?											
町が実施主体となることが法令等により定められている。公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。民間等や国・県で実施するよりも効果的である。民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。										-	B
評価理由										3	
地域での見守り協力員の確保が必須である。その体制を構築するために町が関わっていく必要がある。										4	
3. 実施内容は適切か?											
①有効性											
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。事業の手法・活動内容は適切である。事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。										4	B
評価理由										3	
地域ごとに情報共有を行い、見守りにつなげることができている。情報共有を行い、課題を把握することができ、必要な支援につなげることができる。										4	
②効率性											
事業費に見合った成果を上げている。外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。										3	B
評価理由										4	
社会福祉協議会に事業委託を行っている。年2回の見守り会議の参加者とおしの顔つなぎができ、ネットワークの構築ができ、効率的な見守りができている。										3	
③公平性・透明性											
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)事業費に占める一般財源の額は妥当である。ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。										5	B
評価理由										3	
方法によっては、予算の増減が考えられる。見守り活動について定期的にホームページや広報等で周知することで見守り協力員の増加につながれば良い。										3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

独居世帯の高齢者が増えているため、見守りが必要な方は増えている。一方で、見守り協力員は増えておらず、ボランティアの育成は引き続き課題である。日頃の声かけやついでに様子を伺うことも見守りであることから、活動について広報などで周知を定期的に行っていく事が必要ではないかと考える。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.3

二次評価	評価者	稲永 みき
<input type="checkbox"/> A以下の点について、良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input checked="" type="checkbox"/> B計画どおり、現状のまま事業を継続する。 地域での見守り活動は重要であり、その活動が継続していけるように、社会福祉協議会および民生委員会と連携し支援を行っていく必要がある。		
<input type="checkbox"/> C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するための計画の見直しを行う。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求め、 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

一次評価をやり直し、
月 日
までに提出すること。
 評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.4

外部評価	
今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
評価 B	外部評価委員の見意 ・見守り協力員の方の高齢化が顕著になっているのではないかと。 ・見守り協力員や民生委員の方に負担感が出ないよう、そこに参加する事が生きがいにつながるような内容であるべき。 ・広報やSNSなど、若い方を取り入れる施策が弱い。若い方を取り入れて、多世代交流を行っていく事で、担い手の確保にも繋げていってもらいたい。 ・子ども連と高齢者が一緒に進んでいて、それが自然と見守りになっていっているような体制が取れるところまでいくと理想の形にならないかと。
経営者評価 B	経営者会議の評価 高齢者等見守り事業及び福祉支援者育成事業は、久山町社会福祉協議会に委託しているが、連携して進めている事業である。見守り協力員の高齢化についてはすでに顕著になり始めている課題ではある。ただ一方で見守り協力員や元氣サポーターにとつてこの活動が生きがいになっているという側面もある。見守り協力員や元氣サポーター等の制度も必要ではあるが、隣近所の人が見守りを行えるような環境を日常から整える事が必要であり、この事業に限らず、まちづくりとも関わって考えると考える。第4次総合計画にも掲げられている子育て世帯や高齢者が共に集う場の創設についても、こういった見守り等に繋げていきたい。
令和6年度予算要求事項(今後の取り組み) 見守り協力員の高齢化という課題に対し、久山町社会福祉協議会と協力して見守りボランティア養成講座を開催し、見守り協力員の増員を図る。地区別見守りネットワーク会議を年間2回開催し、行政区、見守り協力員、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等が情報共有と連携強化を行い、見守り体制の充実を図る。幅広い年齢層に向けて、広報紙やLINE等を活用し、事業内容の周知や見守りについての意識の啓発を行い、見守り体制の拡大に取り組む。また、多世代による見守りの目を増やすために、子育て世帯や高齢者が共に交流し合える機会の創設を検討していく。	